

## 図書館総合展・学術情報サミットのご報告

11月24日(水) パシフィコ横浜会議センター

参加フォーラム：図書館を使った調べる学習コンクール～その効果について総合的に評価する～  
“調べるために図書館を使うことで、人はどのように成長するのだろうか”

講師：根本 彰（東京大学大学院教育学研究科教授）、浅石卓真、井田浩之、金昭英（同 院生）

概要： **人が生涯学び続けることのできる場「図書館」。自らの課題を図書館で調べまとめた経験をした子どもたちは、どんな大人へと成長していくのだろうか。**

新しい学習方法として提案されている探究型学習の一形態である「図書館を使って調べる学習法」の効果を、過去の「図書館を使った調べる学習コンクール」受賞者の作品や、指導関係者への調査などをもとに総合的に評価する。

**大変興味深い研究でした。本校では、総合的な学習の時間を中心に「探究的な学習」を進めていますが、これからの学習の方向性を示唆する貴重な勉強をしてきました。**

### 作品の審査を通して… (小学生の部)

文章力、見せ方、量が議論になった。

- ・高学年では「仮説検証」が行われているかどうか。
- ・読んだ資料を列挙しただけのものの評価は低い。
- ・発達段階に応じた作品であるかどうか。
- ・低学年は写真や絵などが高く評価される傾向がある。
- ・高学年は形式より内容を重視した評価が見られた。

### 入賞作品の分析（小学生の部）

- 1 テーマ
  - ・自然科学系のテーマが中心。
  - ・身近な出来事の観察や家族との会話をきっかけとしている。
- 2 作品構成
  - ・疑問に対する仮説を立ててそれを検証する作品と、多くの疑問を立ててそれらを一つ一つ解決する作品が多い。
  - ・文献調査、実験、聞き取りを全て行う作品が3/4を占める。
- 3 参考資料
  - ・図書と電子資料が全体の9割以上。
- 4 入賞者の能力
  - ・身近な自然現象に対する疑問を定式化する能力。
  - ・疑問に対する仮説を立てて、様々な方法で総合的に調査する能力。
  - ・図書と電子資料から必要な情報をまとめる能力。

### 調べる学習：探究と言語表現

- ◇疑問をもつ
  - ・通常の学習 +  $\alpha$  ⇒質問力
- ◇調べる
  - ・文献検索・情報検索 ⇒調べる力1
  - ・科学的な観察、実験 ⇒調べる力2
  - ・社会的な観察、聞き取り、調査
- ◇表現する
  - ・表現（文章、図、表、絵、写真） ⇒表現力1
  - ・論証（論理、構成、編集） ⇒表現力2

### 調べる学習コンクールの意義

- 地域あるいは学校で探究型学習を促進する動機となっている。
- 図書館（学校・公立）の整備と一体となって進められる（図書館がなければ取り組めない）。
- 少なくとも受賞者にとってはその後の学習や社会生活に効果があった。
- 生涯学習の準備を地域で進める意義がある。

### 課題

- ◆ 調べる学習のためのノウハウの共有
  - ・学習者が探究的学習を進めるための指導
  - ・サポート体制のノウハウの集約
- ◆ 調べる学習を支える体制の整備
  - ・地域的なサポート体制（教育委員会、教員）